

令和6年度予算の概要

一般会計予算総額は105億円となり、前年対比で7億円（7.1%）の増額となりました。

本年度は、3歳未満の保育料や学校給食費無償化事業により子育て・教育に関する施策の充実を図るとともに、豊富な地域資源を活かした質の高い食文化の体験を観光コンテンツと位置づけ、ブランディングとプロモーションの展開及び観光客受入環境整備を図る新たな産業振興施策として「ガストロノミーツーリズム推進事業」を実施するなど、未来に向けて持続可能な住みやすい町をつくることに重点を置いた予算編成を行いました。

一般会計予算

歳出では、衛生費は一般廃棄物最終処分場施設整備事業、北後志廃棄物処理広域連合負担金などの増により約1億2,964万円の増額、商工費は、道の駅再編整備事業などの増により、約1億3,062万円の増額、土木費は町道法面対策事業、町道外除排雪関係経費、除雪作業車等保管倉庫建設事業、河川保全事業、下水道事業会計負担金などの増により約4億6,814万円の増額となっています。歳入では、地方交付税は約5,491万円の増額、分担金及び負担金はし尿・浄化槽汚泥受入施設建設事業負担金などの増により約1億2,047万円の増額、繰入金はふるさと応援寄附金基金繰入金などの増により約1億2,501万円の増額、町債は、緊急自然災害防止対策事業債、脱炭素化推進事業債、過疎対策事業債の増により4億425万円の増額を見込んでいます。

◆歳入予算額 (単位：万円)		◆歳出予算額 (単位：万円)	
区分	予算額	区分	予算額
町 税	17億3,528	議 会 費	1億2,389
地方譲与税・各種交付金	6億8,020	総 務 費	13億7,687
地方交付税	39億1,642	民 生 費	23億1,866
分担金及び負担金	5億5,751	衛 生 費	17億1,121
使用料及び手数料	1億6,035	労 働 費	3,751
国庫支出金	11億3,459	農 林 水 産 業 費	2億3,305
道 支 出 金	6億9,028	商 工 費	3億4,285
繰 入 金	7億5,663	土 木 費	24億4,315
繰 越 金	100	消 防 費	4億9,880
諸 収 入	1億3,504	教 育 費	7億3,315
町 債	7億2,758	公 債 費	6億7,586
そ の 他	512	予 備 費	500
計	105億0,000	計	105億0,000

特別会計予算の概要

国民健康保険特別会計

本会計は、余市町にお住まいで他の健康保険制度に加入していない方を対象として、保険医療給付を行うことを目的に設置されている会計です。国保の都道府県化により、国保事業費納付金を北海道に納付し、給付に必要な費用は全額北海道から交付を受けます。新年度予算は、前年度に比べ1億5,020万円（5.5%）の減額となっており、加入者の保険税のほか、道支出金、一般会計からの繰入金により運営を行います。

◆歳入予算額 (単位：万円)		◆歳出予算額 (単位：万円)	
区分	予算額	区分	予算額
国民健康保険税	3億7,954	総 務 費	2,466
一部負担金	0	保 険 給 付 費	19億5,729
使用料及び手数料	40	国民健康保険事業費納付金	5億7,500
道 支 出 金	20億380	保 健 事 業 費	2,355
繰 入 金	1億9,976	公 債 費	100
繰 越 金	100	諸 支 出 金	250
諸 収 入	50	予 備 費	100
計	25億8,500	計	25億8,500

後期高齢者医療特別会計

本事業は、75歳以上（65歳から74歳で一定の障がいを持つ方を含む）の方の保険医療給付を行う事業であり、その運営は北海道後期高齢者医療広域連合が行います。本会計は、その事業のうち加入者の保険料徴収や各種申請の受付業務を行います。新年度予算は、前年度に比べ2,280万円（6.4%）の増額となっています。

◆歳入予算額 (単位：万円)		◆歳出予算額 (単位：万円)	
区分	予算額	区分	予算額
後期高齢者医療保険料	2億6,477	総 務 費	348
使用料及び手数料	2	後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	3億7,471
国庫支出金	76	諸 支 出 金	60
繰 入 金	1億1,264	予 備 費	1
繰 越 金	0		
諸 収 入	61	計	3億7,880
計	3億7,880		

介護保険特別会計

介護保険事業は、介護サービスに係る保険給付と介護予防などを目的とする地域支援事業を行っており、これらの事業費は国・道・町の公費負担と3年ごとに見直される保険料などにより賄われています。

新年度予算は前年度に比べ、1,579万円（0.6%）の減額となっています。

◆歳入予算額 (単位：万円)		◆歳出予算額 (単位：万円)	
区分	予算額	区分	予算額
保 険 料	4億286	総 務 費	3,145
使用料及び手数料	2	保 険 給 付 費	22億9,864
国庫支出金	6億4,374	地 域 支 援 事 業 費	1億3,745
支 払 基 金 交 付 金	6億4,438	諸 支 出 金	105
道 支 出 金	3億5,535	基 金 積 立 金	1
財 産 収 入	1	公 債 費	20
繰 入 金	4億2,338	予 備 費	100
繰 越 金	1		
諸 収 入	5		
計	24億6,980	計	24億6,980

企業会計予算の概要

公営企業会計（水道事業）

本会計は、町民の皆さんに水道水を供給する事業であり、公営企業として事業に要する経費等の大部分は皆さんからの「水道料金収入」で賄われています。新年度予算（総支出額）は、資本的支出の建設改良費（配水管や老朽管の更新工事、浄水施設の設備更新工事など）の減少により、前年度に比べ5億1,000万円（27.3%）の減額となっています。

◆総収入 (単位：万円)		◆総支出 (単位：万円)	
収益的収入	資本的収入	収益的支出	資本的支出
営業収益	5億7,918	営業費用	6億4,710
営業外収益	1億2,558	建設改良費	3億4,306
		営業外費用	8,332
		企業債償還金	2億8,571
		特別損失	100
		予備費	10
計	7億476	計	7億3,152
		計	6億2,877
		総支出	13億6,029
		総収入	10億2,325

※総収入と総支出の差額（約3億3,700万円）は、本年度の収益的支出中、「営業費用」に現金支出が伴わないもの（減価償却費等：約3億2,400万円）が含まれていることと、前年度からの繰越金等で補っています。

※収益的収入・支出とは、水道料金などの収入と、水道水をつくるための経費や施設の維持管理などの経費です。※資本的収入・支出とは、水道施設整備をするための財源と経費です。

公営企業会計（下水道事業）

下水道事業は、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全を図るほか、雨水による浸水被害の軽減に取り組んでいます。今年度は、昨年度に引き続き、近隣の町村と共同で汚水処理を行うための整備を進めます。また、経営改革の一環として「経営の見える化」を図るため、令和6年度から地方公営企業法の財務規定を適用しました。財務規定の適用初年度であるため、前年度予算との比較はありません。

◆総収入 (単位：万円)		◆総支出 (単位：万円)	
収益的収入	資本的収入	収益的支出	資本的支出
営業収益	2億8,231	営業費用	7億4,262
営業外収益	5億1,707	建設改良費	17億4,290
特別利益	585	営業外費用	7,174
		企業債償還金	5億9,862
		特別損失	740
		予備費	10
		計	8億2,186
計	8億523	計	23億4,152
		総支出	31億6,338
		総収入	29億6,439

※総収入と総支出の差額（約1億9,899万円）は、本年度の収益的支出中、「営業費用」に現金支出が伴わないもの（減価償却費等：約4億7,478万円）が含まれていることと、引継金等で補っています。※収益的収入・支出とは、下水道使用料などの収入と、汚水処理のための経費や施設の維持管理などの経費です。※資本的収入・支出とは、下水道施設整備をするための財源と経費です。

※ここでは予算の概要についてお知らせしていますが、予算の詳細については、後日ホームページにてお知らせします（6月上旬予定）。